



Human Metabolome Technologies, Inc.

# HMT 中期経営計画

## Challenge to Healthcare Value Innovator 25

2023年8月

ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社 (6090)

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

## 当社の企業理念・パーパス

未来の子供たちのために、

最先端のメタボローム解析技術とバイオ技術を

活用した研究開発により、

人々の健康で豊かな暮らしに貢献する

## 持続的に成長する組織へ

### 当社が目指す方向性

【ヘルスケア・ソリューション・プロバイダー】

ヘルスケア研究開発に携わる人々のベストパートナーとして、画期的なヘルスケア製品・サービスの創造に貢献する。

### 当社のSDGsへの取り組み



【目標9：産業と技術革新の基盤をつくろう。】

当社の技術・ノウハウを提供することで産業セクターにおける科学研究を促進し、技術能力の向上に貢献する。



【目標3：すべての人に健康と福祉を。】

当社の研究開発支援の結果、クライアント企業及び自社の製品化・サービス化により、健康危険因子の早期警告・緩和・管理、感染症などへの予防・対処、精神保健などの改善に貢献していく。

<キーワード> 免疫強化、メンタルヘルス、Well-being、QOL向上 etc...

- 未病・予防といった健康寿命延伸を目的とした研究開発
- 様々な機能性素材の開発 ■ 健康に寄与するソリューション開発

## 基礎研究領域

## ヘルスケア関連領域

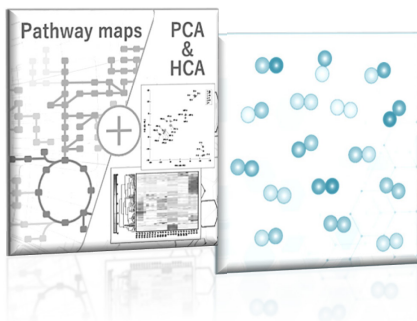
### 先端研究開発 支援事業

### ヘルスケア・ ソリューション事業

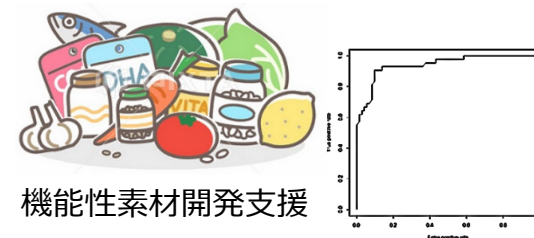
#### メタボロミクス (+α オミクス) 解析受託サービス

#### 生体分子解析

#### バイオマーカー開発支援 機能性素材開発支援



- ・メタボロミクス
- ・他オミクス
  - リポドミクス
  - miRNA解析
  - プロテオミクス
- etc.
- ・皮膚ガス
- ・エクソソーム
- etc.



機能性素材開発支援

バイオマーカー開発支援

#### 情報解析 インフォマティクス

先端技術の提供を通じて  
最先端研究の  
ブレークスルーに貢献

ヘルスケア関連企業が抱える  
研究課題の解決に貢献  
(コンサルティング含む)

## 2020.6-2023.6 経営基盤整備

- ・売上増加
- ・不採算部門の再編  
(欧州・バイオメディカル 子会社)
- ・先端研究開発支援事業 生産性向上
- ・ヘルスケア・ソリューション事業  
の立上げ
- ・研究開発の推進、効率的な運用

→ **安定利益確保・財務体  
質強化・株主還元開始**

## 2024.6-2026.6 成長基盤構築

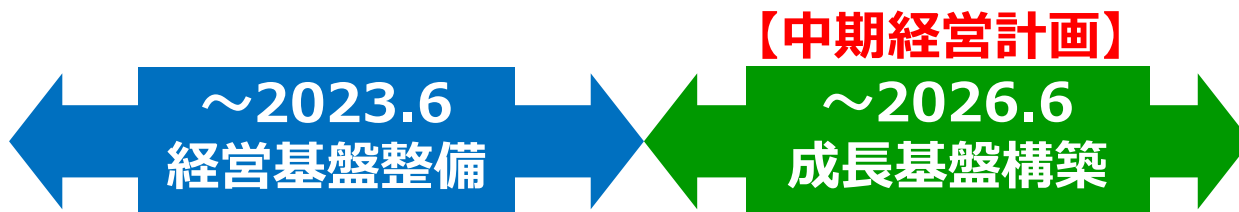
- ・機能性素材開発支援等を中核として  
ヘルスケア・ソリューション事業を拡大
- ・研究開発分野を選定し投資を継続
- ・生産性向上のためのデジタル化推進
- ・顧客満足度向上に向けた新メニュー開発

→ **新規事業による利益拡大・  
飛躍的成長に向けた  
新規分野での研究開発の推進**

Challenge to  
Healthcare Value Innovator 25

2026.6以降  
企業成長

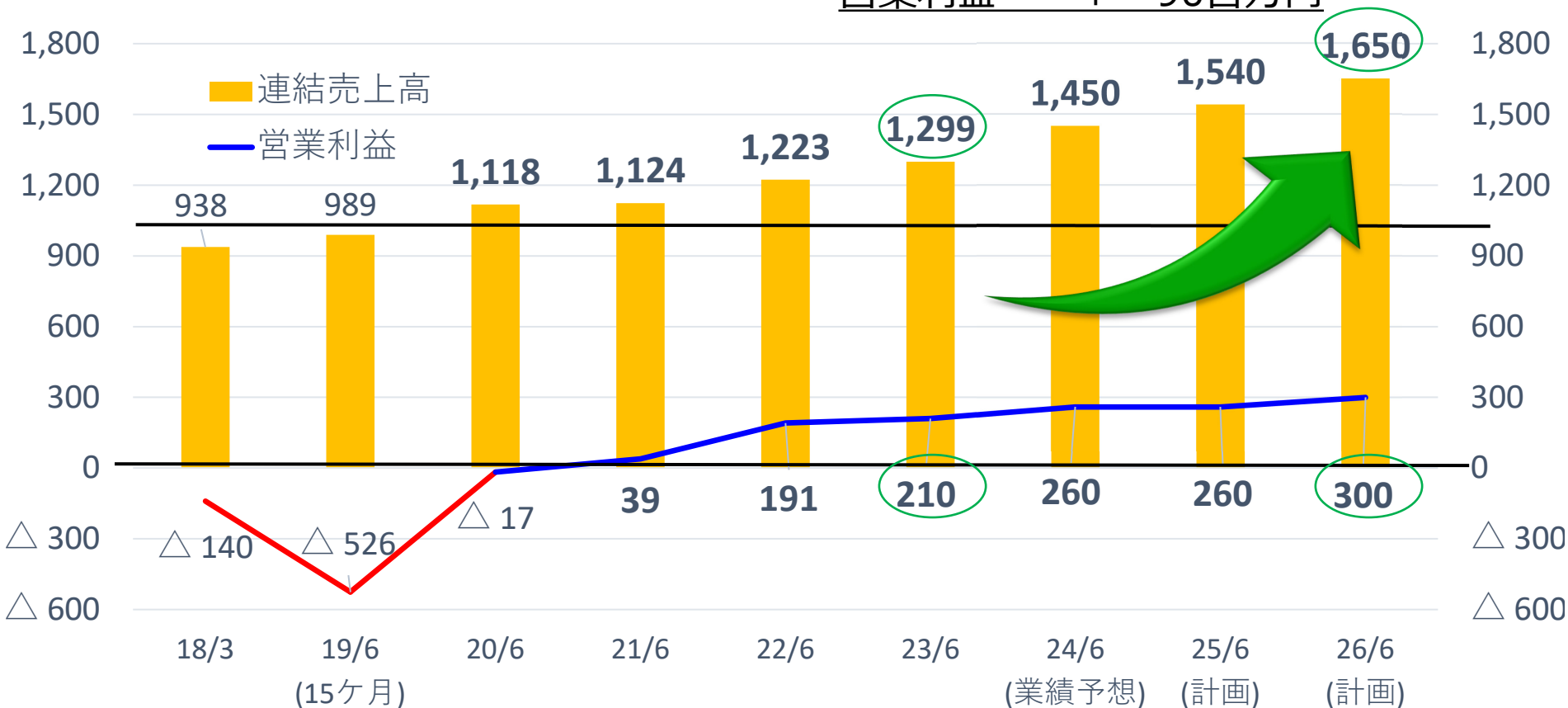
# ■ 中期経営計画 位置付け（数値計画（売上・営業利益））



**【中期経営計画】**

連結売上高 + 350百万円  
 営業利益 + 90百万円

(百万円)



本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

## 基盤となる先端研究開発支援事業の 持続的収益拡大

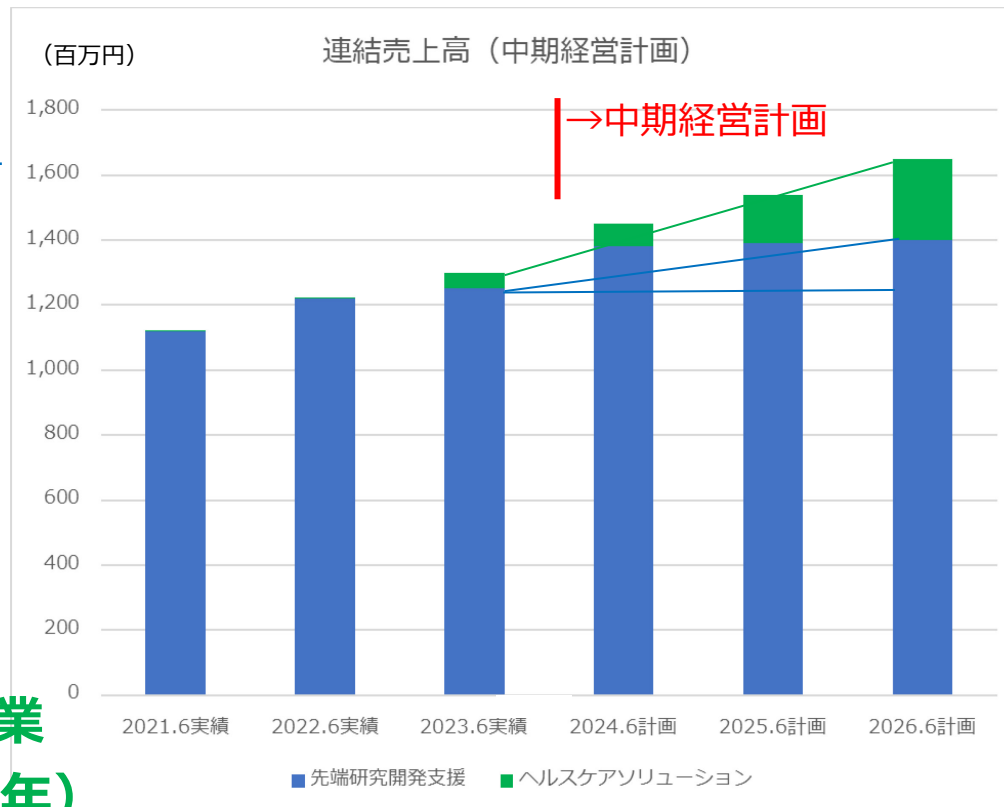
将来の成長エンジンとなる  
ヘルスケア・ソリューション事業の確立・収益化

イノベーションの推進

オペレーショナル・エクセレンスの向上

## ➤ 先端研究開発支援事業 売上高 1.5億円増（平均+3.8%/年）

1. 新メニュー開発とそれに応じたマーケティング施策により、対2023.6期 +60百万円を目指す。
2. 欧米の製薬企業等からの受注拡大により、対2023.6期 +90百万円を目指す。



## ➤ ヘルスケア・ソリューション事業 売上高 2億円増（平均+71%/年）

1. 機能性素材開発包括支援サービスによる飛躍的な売上増加に努め、対2023.6期 +200百万円を目指す。
2. セグメント利益（全社共通経費配賦前）黒字化

機能性素材開発支援を中核として、ヘルスケア・ソリューション事業を拡大し、両事業で連結売上高16.5億円（対2023.6期 3.5億円増（平均+8%/年））を目指す。



## 基本戦略： 基盤となる先端研究開発支援事業の持続的収益拡大

### 解析受託売上成長・顧客満足度向上

1. メタボロミクスにおいて、**グローバル**視点での新たな**高感度網羅解析技術**の開発
  2. 新たな**測定技術**の開発（新たな分子種など）
  3. **+α オミクス**および**インフォマティクス**の活用
- 売上 1.5億円増を目指す 2023.6期 12.5億円 → 2026.6期 14億円

### オペレーショナル・エクセレンスの更なる進化

1. **マルチスキル化**（多能工化）による稼働平準化
  2. 工程管理**デジタル化**（生産管理システム）による効率化
  3. **機械化**（ロボット・AI）の導入による自動化
- 製造原価率（提携サービスの仕入原価除く） 29%未滿を目指す  
2023.6期 29%

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

## 基盤戦略

# 将来の成長エンジンとなる ヘルスケア・ソリューション事業の確立・収益化

## 成長ドライバーとしての売上拡大

1. 実効性の高い新規機能性素材開発手法を確立し、サービス展開を加速（**機能性素材開発包括支援サービス**）
2. 効率的な**マーケティング**による新規**市場開拓**と新規**顧客獲得**
3. **戦略的業務提携**による事業成長

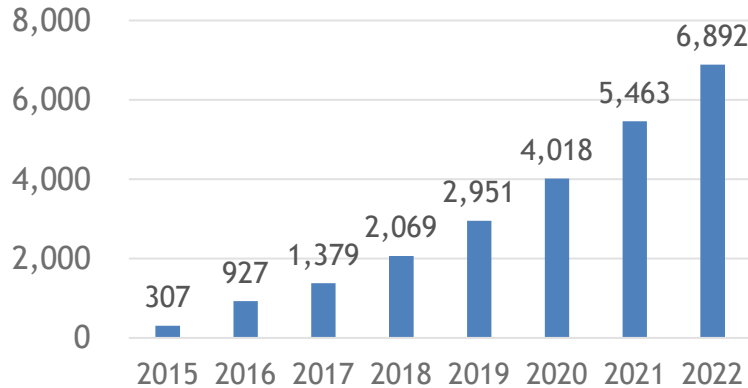
売上 2億円増を目指す 2023.6期 0.5億円 → 2026.6期 2.5億円  
セグメント利益（全社共通経費配賦前）黒字化を目指す

## 飛躍的成長に向けた新規分野での研究開発の推進

1. **オープンイノベーション**を活用した新規技術の応用開発
2. **機能性素材の自社開発・共同開発の推進**

➤ 機能性素材開発包括支援サービス（例：機能性表示食品）

機能性表示食品の届出推移

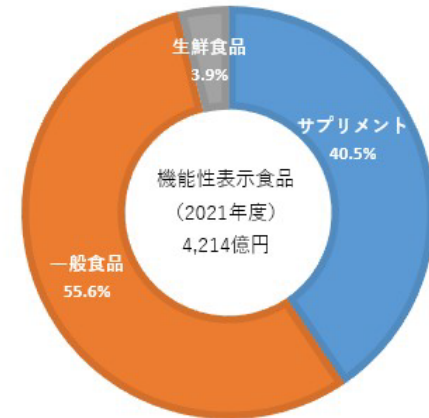
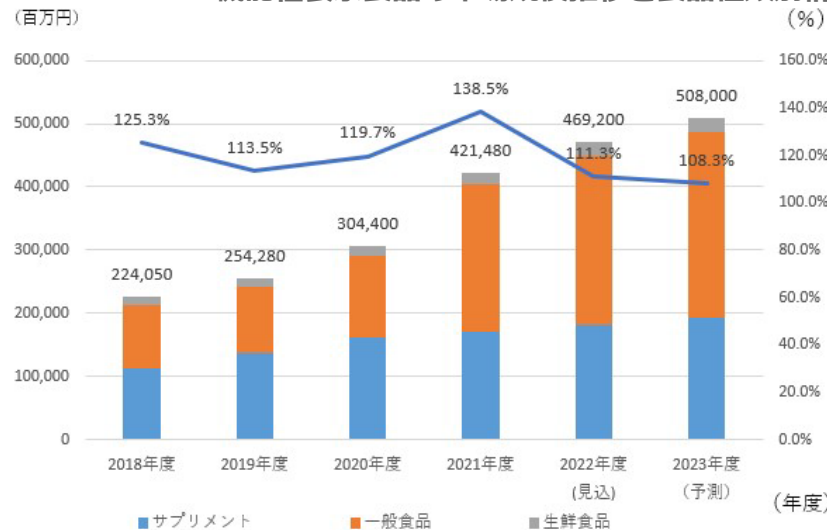


- 2015年4月1日にスタートして以来、毎年右肩上がり届出件数が増加
- 2022年実績、届出件数は6,900に（1年間で1,400件増加）
- 2023年度（2021年予測）市場規模5,080億円

➡本サービスは当該市場の開拓から着手

■ 累計届出数

機能性表示食品の市場規模推移と食品種類別構成比（2021年度）



機能性表示食品  
(2021年度)  
4,214億円

矢野経済研究所調べ

注3.メーカー出荷金額ベース

注4.2022年度見込値、2023年度予測値

注5.錠剤、カプセル、粉末、ミニドリンク形状の機能性表示食品のうち、消費者庁に届出受理された商品のみを対象とする。

矢野経済研究所: プレスリリース No.3235  
[https://www.yano.co.jp/press-release/show/press\\_id/3235](https://www.yano.co.jp/press-release/show/press_id/3235)

本資料の一部またはすべての複製・再配布は、お断りいたします。

## 機能性表示食品開発の届出までのステップ



- ✓ 機能性表示食品開発には様々な調査・試験が必要。
- ✓ **どんな機能性関与成分が含まれているかの分析に時間がかかる。**
- ✓ 開発の時間・コストがかかり、**ヒトでの有効な機能性が見い出せない場合、開発中断となるケースもある。**
- ✓ 届出のためのエビデンス取得にも時間とノウハウが必要。

機能性素材開発包括支援サービス



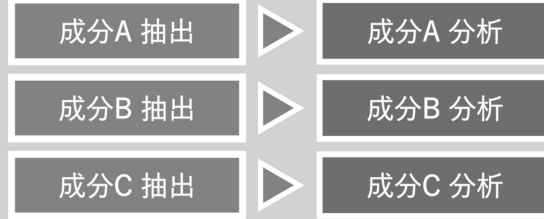
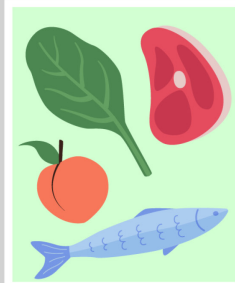
+メタボロミクス  
+インフォマティクス  
+ネットワーク

コンサルテーションや独自のパッケージで  
機能性表示食品開発企業が抱える課題をワンストップで解決

## 機能性素材開発包括支援サービス 当社独自の強み①



通常の機能性関与成分探索ステップ



・分析対象の成分ごとに分析方法がわかれている  
・届出可能な含有量の成分が見つかるまで探索が必要

届出資料作成  
消費者庁へ届出

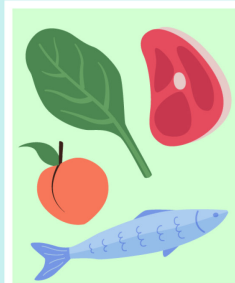


開発時間がかかる  
コストが高い

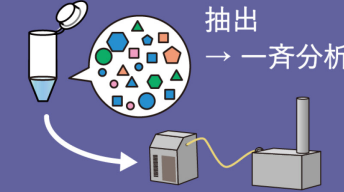


### 機能性関与成分の検出・特定に時間がかかる

HMTの機能性関与成分探索パッケージを活用すると



機能性関与成分探索パッケージ



成分A  
成分B  
成分C  
成分D  
...

届出資料作成  
消費者庁へ届出

CE-MSおよびLC-MSにより  
食品中の機能性関与成分を一斉分析  
→ 届出できる可能性の高い成分を  
一度の試験で把握できる



開発時間の短縮  
コストの圧縮

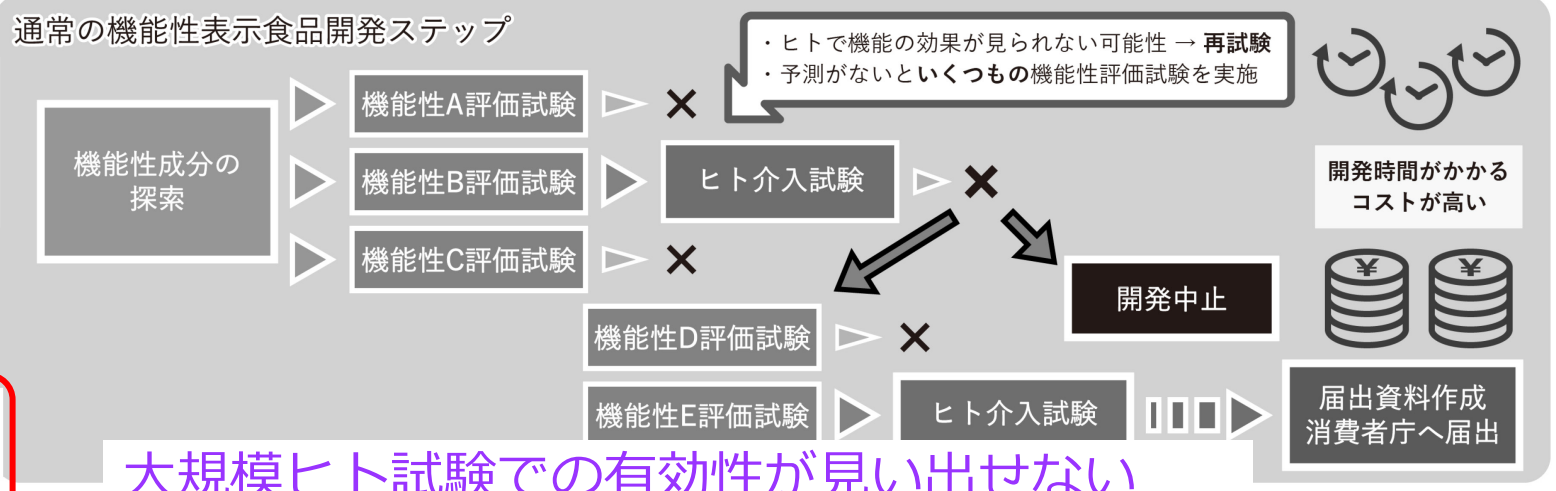


### 当社独自の強み

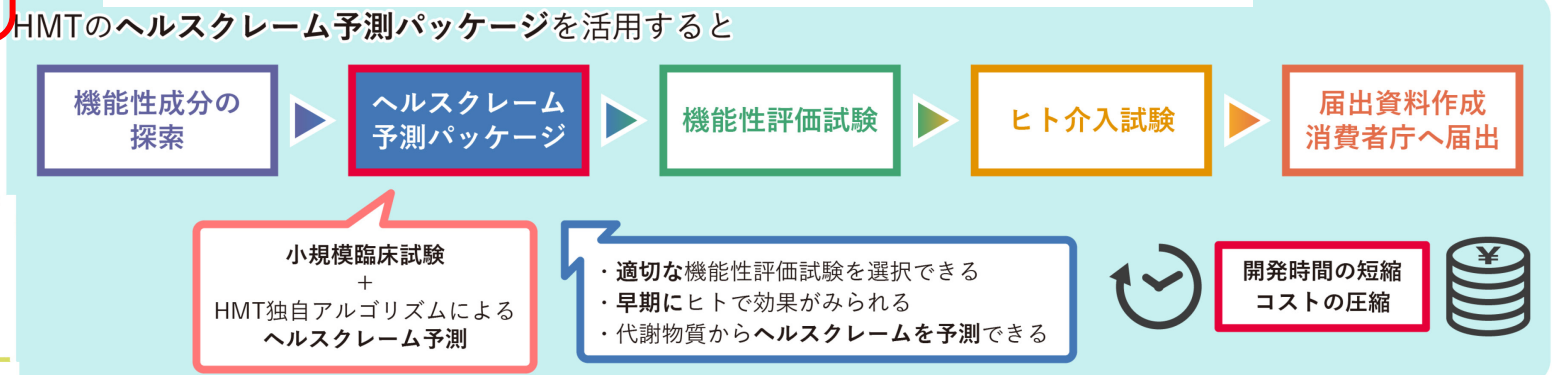
## メタボロミクス

一度の解析でどのような機能性関与成分が含まれているかを**一斉分析**。1種類だけでなく**複数の関与成分**を見出せる可能性。

## 機能性素材開発包括支援サービス 当社独自の強み②



大規模ヒト試験での有効性が見い出せない



当社独自の強み

**メタボロミクス**  
**インフォマティクス**

小規模ヒト試験での代謝物変動解析によりヒトでの有効性・ヘルスクレーム（機能性）予測が可能

機能性素材開発包括支援サービス

お持ちの素材・製品を解析し  
機能性表示食品として届出

既に届出済みの素材・製品を  
ダブル・トリプルヘルスクレームに

有効成分のわからない原料から  
新規機能性成分を同定・検証



試験デザイン



機能性成分の  
探索



早期機能  
予測試験



In vitro



In vivo



臨床試験



論文作成  
届出支援

試験コンサルテーション

新規機能性関与成分の探索

臨床試験

既知の機能性関与成分の分析  
(GABA、クエン酸、クルクミン、  
エルゴチオネインなど)

ヘルスクレーム予測

機能性表示届出サポート

In vitro, In vivo試験

試験デザインから機能性表示の届出まで **トータルサポート**  
機能性素材開発に関わるあらゆるソリューションを  
**ワンストップ**で提供

メタボロミクス

インフォマティクス

ネットワーク

# パーパスを実現し 持続的成長を可能とする組織体制の構築

## これまでの取り組み

- 人事制度改訂（期待する能力要件の再定義・業績連動賞与導入）
- 社内外の研修機会の拡充
- 企業理念浸透への取り組み

## ① 人材情報基盤の整備

- 各人の専門力や経営力の水準把握
- 適材適所の配置

KPI：定期モニタリングの実施

## ② 専門能力向上のための 能力開発・登用

- 専門能力向上のための研修強化
- 多様性のある専門人材の登用促進
- リテンション向上

KPI：離職率削減、労働生産性向上、  
開発スピードの加速

## ③ 自律・自走成長する 組織文化の醸成

- 管理者研修強化
- 創造性を発揮しやすい仕組みづくり（従業員発案など）

KPI：エンゲージメントスコア向上



2024年6月期～2026年6月期 成長基盤構築

新規事業による利益拡大・飛躍的成長に向けた  
新規分野での研究開発の推進

(単位：百万円)

	2023年6月期	2024年6月期	2025年6月期	2026年6月期
売上高	1,299	<b>1,450</b>	<b>1,540</b>	<b>1,650</b>
営業利益	210	<b>260</b>	<b>260</b>	<b>300</b>
経常利益	232	<b>280</b>	<b>280</b>	<b>300</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	285	<b>280</b>	<b>280</b>	<b>290</b>

## 当社の企業理念・パーパス

未来の子供たちのために、

**最先端のメタボローム解析技術とバイオ技術を**

活用した研究開発により、

人々の健康で豊かな暮らしに貢献する

# Challenge to Healthcare Value Innovator 25

# 参考資料



## ヒューマン・メタボローム・テクノロジーズ株式会社

設立年月日：2003年7月1日

資本金：1,481百万円

取締役（社内）：橋爪 克仁（代表取締役社長）

大畑 恭宏（取締役）

創業者：

富田 勝 慶應義塾大学名誉教授

曾我 朋義 慶應義塾大学教授

主な事業内容：先端研究開発支援事業

ヘルスケア・ソリューション事業

売上高（直近）：1,299百万円

従業員数（連結）：57名（博士：12名）

本社：山形県鶴岡市覚岸寺字水上246-2

東京事務所：東京都中央区新川2-9-6

シュテルン中央ビル5階

子会社：HMTアメリカ アメリカボストン

（2023年6月現在）

- 2001 ● 慶応大学先端生命科学研究所、山形県鶴岡市に開所
- 2003 ● 創業（創業者：慶応義塾大学 富田氏、曾我氏）
- 2012 ● Human Metabolome Technologies America Inc. 設立
- 2013 ● 上場（東証マザーズ（現グロース市場）：6090）
- 2023 ● 創業20周年

(百万円)

